

## RFMDニュース



rfmd.com

### 会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.  
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist  
7628 Thorndike Road  
Greensboro, NC 27409-9421, USA  
電話: +1 (336) 678-8945  
[bcockman@rfmd.com](mailto:bcockman@rfmd.com)

## RFMD社、WCDMA携帯用フロントエンドの出荷が1億個を突破

### 3G携帯端末でのリーダーシップを示すマイルストーン

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年7月 26日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向け高性能無線システム/ソリューションの設計、製造で業界をリードするRFMD社(ナスダック: RFMD)は本日、WCDMA携帯端末フロントエンドの出荷が1億個を超えたと発表、RFMD社は無線業界で初めて3G端末用WCDMAフロントエンドを1億個出荷した会社となった。同社ではこのマイルストーン達成の要因として、3Gマルチモード端末の販売が引き続き好調なこと、またWCDMA携帯端末フロントエンドで同社のシェアが1位にあることを挙げている。

「新たな3G帯域の追加や3G端末の普及に伴い、3Gマルチモード端末用のフロントエンドに対する需要は端末自体の需要よりも急速に拡大しています。革新的な3Gフロントエンドソリューションのラインアップと業界一の生産規模をベースに、プラットフォームの柔軟性、省エネルギー、多バンド対応といった複合的な課題を解決しつつ、当社はこの拡大する需要に対応していくことができます。」RFMD社のセルラー製品グループ担当副社長エリック・クレビストンは語る。

2007年6月の四半期、RFMD社WCDMAフロントエンドの売上げ拡大ペースは端末マーケットの売上げ拡大のペースを大幅に上回っている。また同社WCDMAフロントエンドの売上げは9月四半期にも50%を超える拡大を続ける見込み。

RFMD社の予測によれば、約51%の5年複利成長率を反映させると3Gマルチモード端末の市場は2011年までに5.8億台を超えるという。さらにRFMD社では2011年までに3Gマルチモード端末は平均して約2.7 UMTSバンドに対応すると予測している。

3Gマルチモード端末は端末に占めるRFMD社の金額比率を高めるための原動力となる。3Gマルチモード用デバイスの流れにはGPRS/EDGEの流れが1つと、UMTSの流れが少なくとも1つあり、いずれもPA中心のフロントエンドソリューションとそれに付随する補完RF部品を必要としている。3Gマルチモード・デバイスの普及と多地域対応のバンド数の増加に伴い、3Gマルチモード端末用のフロントエンドや補完部品の市場拡大は端末自体の市場拡大のペースを大きく超えるものと期待される。さらに、WiFi機能を持つ3Gマルチモード端末の比率も高まっているが、WiFi機能付き端末用の無線LANフロントエンドでもRFMD社は最大の供給者となっている。

RFMD社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001およびISO 14001の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、[www.rfmd.com](http://www.rfmd.com)に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法(*Private Securities Litigation Reform Act*)がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRFマイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###